

事業のタネシート

活動地域・団体名：国頭村・国頭村役場

事業名称 1：暮らす人もヤンバルクイナも元気な農林地域づくり

あらすじ

本村において、村内に量販店がないことから、村産農林水産物の購入機会が少なく、村内消費が少ない状況となっています。また、養豚業が盛んな本村において、豚の糞尿処理に農家の負担が大きいが課題となっています。村内での村産物の消費の拡大及び地域環境に誇りが持てる農業にするため、役場、農産物直売所や農業従事者、ホテルや飲食店などが村産物の旬カレンダーやのぼりなどによる啓発や村産物の販売やおいしい料理を提供することで、地産地消を推進します。また、畜産の糞尿の課題といった地域の環境問題に取り組むことで、地域の環境問題への関心を高めていきます。

この事業を行うことで、自他ともに認める農作物及び産地とし、安定した農業の実現を図ります。また、環境に配慮した農業など保全活動に取り組むことで、地域内外の環境配慮及び保全活動を支援する人々を取り込み、村内の保全活動の充実が図れます。

ストーリー

村産物の購入する機会が少ない現状を村産物の旬カレンダーを全世帯に配布し、村産農林水産物の旬な時期を認知してもらうこと、村産物を取り扱う直売所といった販売店や飲食店でのぼり等を活用した地産地消を進めることで、村産物購入機会が増え、安心して安全な村産物の販売に繋がります。また、飲食店等で、旬な食材を使った料理を提供することで、村内での村産物を利用した料理の普及に繋がり、旬カレンダーの周知との相乗効果で家庭での旬な村産物の利用増大を図り、需要拡大により供給体制の充実されます。長期的には、自他ともに認める農産物が指示購入された安定的な農業の実現を想定しています。また、環境に配慮した農業や保全活動を実施する農家が増えることで、それを支援する人々を取り込み、自然環境に配慮した地域づくりが実現できることを想定しています。

事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	村産農作物等を優先して購入する村民、誇りを持つ農家による自然に配慮した農業。生産者も利用者も、そしてヤンバルクイナも元気な地域。	・村産物の利用拡大にあたって、農家にとって少量の販売の手間までの労力が足りない
②課題	・村産農林水産物の村内消費が少ない。 ・畜産糞尿処理に農家の負担大	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	・村産農林水産物が自他ともに支持・購入され、地域経済を潤すため。 ・地域環境に誇りを持ち、保全活動の支援者を増やす。	
④地域資源	ヤンバルクイナが生息する自然環境に恵まれた地域 農産物直売所	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	地産地消推進を図る。 ・ 村内生産者と利用者のマッチングを図る。また利用できる環境づくりのため意見交換を行う。 ・村産物の旬カレンダーの作成/のぼり等により村産物販売店及び飲食店の表示 畜産糞尿の再利用の検討 ・豚糞の堆肥化及びバイオガス利用	
⑥担い手（Who）	国頭村役場/農産物直売所/農業従事者/ホテルや飲食店	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	地産地消の推進⇒村内農産物の需給拡大⇒村民が認める農産物⇒誇りを持つ農家の増加⇒自然環境に配慮した農業や保全活動の実施⇒他産業も含めた地域内外の支援者を取り組んだ環境保全活動の充実⇒他地域と違う農産物等の付加価値化	・村産物の生産者から利用者へ繋がられる事業者 ・バイオガスプラント等の運営する技術
⑧事業で生じる成果	短期的な成果⇒村産物の需要の拡大 長期的な成果⇒農業の安定、保全活動の取り組みの増加	